びわこ学園
後援会ニュース
for a bright tomorrow

No. 127　2023年１月１日発行
びわこ学園後援会事務局
〒520-2321　滋賀県野洲市北桜978-2
びわこ学園医療福祉センター野洲内
TEL(077)587-1144　FAX(077)587-4211
発行責任者　島田　司巳
編集責任者　豊口　みか

明けましておめでとうございます

皆様方には健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

令和２年春からのコロナ禍はウイルスの変異もあり、今もって収束の兆しすらなく、本年もウィズコロナ下での生活を強いられることになりそうです。

各種後援会行事も三密遵守のため対面での活動ができず、オンライン中心で不満も蓄積しています。

しかし、こんな中でも両医療福祉センター他各事業所の現場職員方は「この子らを世の光に」の意義を自覚し、昼夜頑張っておられます。

私たち後援会員もコロナ禍にひるまず、すばらしい学園の理念、

一．一人ひとりの尊厳を重んじ、他とおきかえることのできない“いのち”を支えます。
二．その人らしさが輝く、「ふつうの生活」をおくることができるよう支援します。
三．障害のある人たちが安心して暮らせるまちづくりをすすめます。

を反芻しながら、学園や地域にモラルサポートを届けたいものです。

びわこ学園後援会会長　島 田 司 巳

ご支援ありがとうございます
～各施設で開催されたイベントへの助成報告～

びわこ学園後援会事務局

【医療福祉センター草津　秋祭り】

今年も感染症対策の下、秋祭りを開催することができました。屋外でご家族やボランティアの方々、職員とともに音楽を楽しまれている姿や、ゆったりとお話しする姿、思い思いに過ごされている利用者さんの表情はやわらかく、あたたかな雰囲気に包まれた時間でした。

新型コロナウイルスが流行してから、以前のような形での行事の開催は難しくなっていますが、後援会をはじめ、みなさまのご理解・ご協力のおかげで形を変えながらも秋祭りを開催させていただけています。日頃よりご支援いただきますことに、感謝いたします。

（びわこ学園後援会事務局　医療福祉センター草津　堀田）

【医療福祉センター野洲　学園祭】

感染症対策のもと10月17日から各病棟にて学園祭を開催し、最終日23日には古墳広場でHAMORI-BEさんのコンサートが行われました。今回のテーマは「新じだい」。幕開けとともに音楽や祭りの恒例である熱気球が飛び出し、利用者さんからもたくさんの笑みがこぼれました。後援会をはじめとする皆さまのご支援あっての、楽しく、穏やかな時間に感謝しております。

（びわこ学園後援会事務局　医療福祉センター野洲　吉岡）

【知的障害児者地域生活支援センター　こまつりはうす】

今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止対策により､「おまつりはうす」は中止となりました。そんな中「さくらはうす」では、何とか利用者が楽しめる催し物を検討し、11月11日に「こまつりはうす」と称して実施しました。感染防止のため、３階と４階フロアごとに分けての実施となりましたが、それぞれに楽しい時間を過ごすことができました。３階では、午前中は「ムジクル」の音楽ライブ、午後からは、おもちゃの金魚すくいと風船釣りを行いました。また、４階は会議室をお借りして、「金魚すくい」「だるま落とし」「的あて」「お菓子釣り」などのゲームを行い、皆さん賑やかな雰囲気の中、楽しんでおられました。日々の活動に加えて、行事を通して見られる利用者さんの表情、いつもと違う時間の大切さを改めて感じた一日となりました。後援会にご支援いただいた皆様のご協力のお蔭と感謝しております。

（びわこ学園後援会事務局
知的障害児者地域生活支援センター　田中）

ことばの絵の具箱

キャンドルを通じた地域の方々との交流

ひまわりはうす　　山口　俊一

ひまわりはうすでは、生活介護や日中一時（週末の余暇支援）の各事業で様々な活動を行なっています。ろうそくづくりやお菓子づくり、調理やドライブ、足浴、室内レクやボウリング、コンサートなどなど。説明を聞きながら一生懸命に取り組んでいる姿や出来上がった作品の数々、足をつけて寛いでいる様子や一投ごとに盛り上がる雰囲気などなどの活動にも沢山の日常が溢れています。なかでも、絵画やろうそくづくりなどの創作活動は、定期的に展示や（キャンドルの）販売をしています。皆さんに見てもらうことや購入して頂くことが次への意欲につながっています。今回は、ふれあいカフェ楽さんとウリハッキョマダン2022にキャンドルを出品した様子を紹介します。

◎カフェ楽

菱屋町商店街にあるカフェ楽さんには、６月からキャンドルを常設で置かせてもらっています。９月３日には商店街の「土曜100円市」があり、その様子を見に行きました。

小学生らしきお子さんが「かわいい～」と言って買ってくださいました！

◎ウリハッキョマダン2022

８月28日に朝鮮初級学校のウリハッキョマダンでキャンドルを販売させて頂きました。ウリハッキョマダンとは、色々な民族や国籍の方々が集まる異文化交流のイベントです。

元養護学校の先生や他府県の作業所の職員さんもキャンドルを購入してくださり、話が弾みました！キャンドルを通じての沢山の方々との交流は、利用者の皆さんや職員にとっても励みになるものです。地域で細くとも長いお付き合いをさせて頂きたいです。

インスタグラム始めました！

利用者同士がお互いを知るきっかけとして、ご家族の皆様には日々の連絡帳では伝えきれないご本人の姿を知っていただく機会になればという思いで始めました。

HIMAWARI_TARO2008　検索

びわこ学園ＯＢ通信

学園とのご縁と今の私

元びわこ学園医療福祉センター草津・野洲　生活支援員　**阪本　博史**

１、びわこ学園との縁

学園とはどうも見えぬ何かで繋がっていたような気がします。今から40年前、大学をすでに卒業していた私は、京都のとある米屋さんで働きながら小学校教員になるための受験勉強をしていました。午前は精米をして午後は配達の仕事。そんな日々を送っていたある日、配達でトラックを運転しながらラジオから興味深く聞いたのが、滋賀県の一麦寮の田村一二先生の茗荷村にまつわるお話でした。確か第一回の24時間テレビに関わるインタビューであったかと思います。

また、当時読んでいた朝日新聞に「びわこ学園の20年」というルポの連載があり、たまたま関心を持った私はその記事を切り抜いて残していました。

さらに、知人の紹介によりたまたま実習することになった一麦寮のことを米屋の事務員さんに話すと、なんと事務員さんのお姉さんがびわこ学園に勤めていて、朝日新聞のルポに載っていた方だと解りました。記事は腰痛に苦しみ辞めざるを得なかった職員のケース紹介でした。

一麦寮での実習で寮生の方たちとのお付き合いに興味を覚えた私は、米屋さんを辞めて一麦寮での２度目の実習をさせていただきました。田村先生にもお会いしてお話を聞かせていただきました。そんな折、私の存在を知りスカウトしてくれたのが第二びわこ学園の指導部の方だったのです。生活費も底を尽きかけていた私は、第二びわこ学園でアルバイトさせていただくことになりました。

その後は、学園が県立むれやま荘を受託することになったことによる、年度後半にあった職員の追加採用の際にお話をいただき、採用試験の受験、入職ということに至りました。

ラジオの田村先生のお話、一麦寮の実習、びわこ学園の記事、事務員さんのお姉さん、急な職員の大量採用、何か奇妙な縁だったと思います。ちょっとできすぎた話でもあるような気がします。

２、びわこ学園での思い出

本当はこの部分をメインに書かなければならないかと思うのですが、経歴的なことの羅列でお許しいただこうと思います。

1983年11月、第二びわこ学園西棟でアルバイト開始。1984年入職。西棟配属。以後新Ｉ棟、指導部（現生活支援部）、ケースワーカー、事務所、ねんど室、３住棟、センター草津活動担当を経験しました。春の小運動会、夏の棟全体での合宿、グループでの合宿、小学校のグランドをお借りした大運動会、地域交流祭、抱きしめてびわこ、まとめ誌や年報づくり、新築移転時の引越し責任者、映画「私の季節」撮影etc、思い出深い行事やエピソードがたくさんあります。しかし、そうしたことはもちろん印象深いものですが、後に思えば、利用者の方々との特段のことがない日々の生活や、活動場面での関わりやちょっとした瞬間が私の動力の元になっていたのだと思っています。

３、退職後の私

⑴　訪問介護の仕事

学園在職中にはいろいろな部署を経験させて頂きましたが、訪問系の仕事はしたことがなく、やってみたい気持ちでいました。退職後、興味もあった精神障害関係のホームヘルパーの求人を見かけ挑戦してみることにしました。約２年やりまし

た。訪問の仕事自体に対する戸惑いや、私の配慮不足で利用者の妄想を増大させてしまったり、時には口論となったりと、いろいろな失敗経験をすることになりましたが、ある時ある利用者の方が言ってくれました。「阪本さんが来てくれると、ホッとするんですわ！」 リップサービスの部分があったかもしれませんが、私はこれを聞いて、自分がその人のホッとできる、安心できる存在となっていることに安心しました。同時にこんな嬉しいことはないと感じました。この仕事に挑戦してよかったと思いました。振り返れば、言葉を持たない学園の方々が返してくれる笑顔もそうだったなと思います。重症心身障害がある方々への身体と心をひっくるめた総合的な支援には、多くのことが求められたことは身に沁みていました。精神障害がある方々に対しても同様です。しかし、対する人の理解と援助のためには障害の理解を含めた知識や技術的なことは言うまでもなく必要なことですが、やっぱり誠実さとか正直さとか、そういう人と接する上でのごく基本的な心と姿勢面が最も大事なことだと改めて感じさせていただくことができました。

⑵　自然相手の仕事

ホームヘルパーの仕事を２年弱で辞め福祉関係の仕事に区切りをつけることにしました。残りみじかい労働寿命に鑑みて、かねてからやってみたかった自然相手の仕事に挑戦してみようと考えたのです。山小屋の仕事なども考えてみましたが結局、センター野洲近くの希望が丘文化公園で草刈りや遊歩道の補修などの施設管理の作業員を１年しました。西棟での運動会や新Ｉ棟での散歩など懐かしい場所であり、また個人的にも毎週のように散歩している愛着深い公園の仕事ができて楽しい経験になりました。

そして、現在は地質調査関係の仕事（学術ではなく土木分野）をしています。毎週のように全国各地の道無き山を這いずり回り、地盤調査の手伝いをしています。ひと月に北海道に２回行く事もあり、月の半分近くは県外に出ています。珍しい岩や地層の露頭に出逢える楽しさもあります。

自然相手といえば、若い頃やっていた畑を再開し多種の野菜を育てています。孫たちとの芋掘り作業は格別のものです。

４、文章（表現）を書く楽しさ

50代後半より20代から親しんできた山登りに関わるエッセイや詩もどき、小説などを書くことを楽しんでいます。エッセイ集２冊（１冊だけ出版）、短編小説集１冊作りました。ブログにも挑戦しています。できれば今年あたり詩と小説それぞれ１冊、作ってみたいと考えています。こうした書きものの楽しさは、以前に後援会だよりを担当されていた詩人の森哲弥さんの影響や「紙ひびき」を担当したことによるものと思っています。

５、最後に

私の退職理由は、健康問題によるものとはいえ、結果的に非常に無責任な退職となりたくさんの方々にご迷惑をかけてしまったことを悔いていますし、退職後の学園との関わりを持てていないことにも身勝手ながら寂しさを感じています。センター草津にはボランティア登録をしていながらお手伝い出来ないままでしたし、センター野洲でのボランティアも考えましたがその矢先にコロナ禍に、というようなことでますます学園との距離が離れてしまった様に感じておりました。今回こうして後援会の原稿依頼をしていただいたことにより少し気持ちが楽になった様にも感じます。担当の豊口さんに感謝いたします。また、不義理にも後援会員にもならずにきたことを反省し、入会させていただくことにしました。

末尾になりましたが昨年他界されましたねんど室創設者の田中敬三さんについて記させていただきます。ねんど室を開設なされ、利用者の方々に

主に造形表現の楽しさと喜び、心地よい快の感触世界を提供された長年の実践は、びわこ学園の障害がある方々への貴重で素晴らしい支援実践の創出であり財産であると思います。私は念願であったねんど室の担当を３年間させていただいた経験がありますが、田中さんの実際の支援実践に触れることができ、また担当してからも折に触れご助言ご指導いただけたことは誠に幸甚なことでありました。この紙面をお借りしてお礼とご冥福をお祈りさせていただきます。

みなさま、いつもありがとうございます

後援会会費納入者ご芳名

★2022年8月1日～2022年10月31日受付分

（敬称略、順不同）

［2022年度分会費］

西島　悟司　西島　嘉子　田中　俊子　千草　篤磨
坂口　博昭　坂口　春江　松田　正義　奥　博
北川　一二　斎藤　丈夫　松永　洋一　村田　勲
青谷裕美子　芦田　洋三　久木　憲治　安藤美知子
小池恵美子　山田百合子　森田　久男　入江　至
寺田　正子

［2023年度分会費］

仙田　和子　加山　紀美　孤渓佳世子　高塩　文江
大谷　晃昭　加藤　圭　服部　由美　林　和子
竹林美友紀　伊東　徹也　大橋　史子　山中由美子
大藤　耕平　山本　順子　一木　猛彦　中村　容子

後援会寄付金納入者ご芳名

★2022年8月1日～2022年10月31日受付分

（敬称略、順不同）

今宿　功　松永　洋一　柳　惠子　高塩　文江
粟津　順子　竹内　鉄雄

後援会会費・寄付金納入者累計

		区　分	当期受付分	累　計
会費	2022年度分	会員数	21人	222人
		口　数	23口	261口
		金　額	76,000円	797,000円
	2023年度分	会員数	16人	33人
		口　数	18口	35口
		金　額	55,000円	106,000円
	2024年度分	会員数	0人	4人
		口　数	0口	4口
		金　額	0円	12,000円
	2025年度分～2026年度分	会員数	0人	3人
		口　数	0口	3口
		金　額	0円	9,000円

	区　分	当期受付分	累　計
後援会寄付金	会員数	6人	23人
	金　額	101,000円	223,000円

びわこ学園後援会では会員を募集しています！

びわこ学園後援会は「この子らを世の光に」という理念のもと、重い障害を持たれている方がたへ支援しているびわこ学園の事業支援や事業理解をより多くの方に拡げていくことを目的に活動しています。

この活動趣旨をご理解いただき、ご賛同いただける方を募集しています。

ご入会していただくと

- びわこ学園後援会ニュース、びわこ学園だよりを送付します。（年３回）
- びわこ学園記録映画「夜明け前の子どもたち」「わたしの季節」のDVDを販売価格から一割引き（￥5,000⇒￥4,500）で購入できます。

会費

個人：3,000円　　法人・団体：30,000円（年一口）

ご入会の手続きについて

下の振込取扱票を切り取っていただき、必要事項をご記入の上、郵便局で手続きをお願いします。（手数料は無料です。）

また、振込取扱票が無い場合は、直接事務局宛にご請求下さるか郵便局に備え付けの振替用紙に以下をご記入の上、手続きをお願いします。

（口座番号　01080　2　9958　社会福祉法人びわこ学園　後援会）

各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。

払込取扱票

02 大阪

通常払込料金加入者負担

口座番号	金額
0 1 0 8 0 ― 2 ― 9 9 5 8	千 百 十 万 千 百 十 円 ※

加入者名：社会福祉法人びわこ学園 **後援会**

料金　備考

通信欄 ※
1．びわこ学園後援会会費　　年度　　口　　円
2．びわこ学園後援会寄付金　　円

紹介者

ご依頼人 ※（〒　　－　　）
おところ
おなまえ
（電話　　－　　－　　）

日附印

裏面の注意事項をお読みください。（ゆうちょ銀行）（承認番号京第2567号）

これより下部には何も記入しないでください。

切り取らないでお出しください。

振替払込請求書兼受領証

口座番号：0 1 0 8 0 ― 2　通常払込料金加入者負担
9 9 5 8

加入者名：社会福祉法人びわこ学園 **後援会**

金額：千 百 十 万 千 百 十 円 ※

ご依頼人：おなまえ ※

料金　備考

日附印

記載事項を訂正した場合は、その個所に訂正印を押してください。

この受領証は、大切に保管してください。

ホームページ・フェイスブックのご案内

びわこ学園、びわこ学園後援会では、年３回の広報誌だけでなく、ホームページやフェイスブックで各所からのご案内や日中活動の様子などタイムリーな情報を発信しています。

既にご覧になられている方も、まだ見たことがない方も、是非ご覧ください。

●びわこ学園ホームページ

https://www.biwakogakuen.or.jp

●びわこ学園後援会

https://www.biwakogakuen.or.jp/publics/index/386/

●びわこ学園後援会Facebook

https://www.facebook.com/biwakogakuenkouenkai?ref=aymt_homepage_panel

編集後記

新年あけましておめでとうございます。昨年は、年末にサッカーワールドカップの日本代表が２大会連続予選突破を成し遂げたというビッグニュースが届きました。強豪国を相手にチーム全員でつかみとった勝利。予選１位突破！本当に素晴らしかったです。ゴールへ繋ぐ一つ一つのプレーは、絶対勝つ！という気持ちのリレーのようでした。「気持ちで勝つ！」という言葉をよく耳にしますが、今回の日本代表の勝利は、まさにそれだったように思います。コロナ禍での日常は、もうすぐ３年になります。そしてこの先、どのような形でコロナと付き合っていくのかわかりませんが、日々を楽しむことを忘れずに、気持ちだけは前向きに持っていたいと思います。今年こそ、マスクなしで皆さんとお会いして、たくさんお話をし、色々なイベントを楽しむことができますように。（T）

（ご注意）
・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙
5万円以上
貼　　付

印

この場所には、何も記載しないでください。